

垂水市公設地方卸売市場事業経営戦略

団 体 名 : 鹿児島県垂水市

事 業 名 : 垂水市公設地方卸売市場事業

策 定 日 : 令和 3 年 3 月

計 画 期 間 : 令和 3 年度 ~ 令和 12 年度

1. 事業概要

(1) 事業形態等

法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分		法非適		事 業 開 始 年 度		昭和54年度	
職 員 数		兼任1人		市 場 種 別 区 分		地方卸売市場	
前 回 の 移 転 又 は 再 整 備 年 度		—		次 回 再 整 備 予 定 年 度		—	
年間取扱高(t) ※過去3年度 分を記載	年度	野菜	果実	水産物	肉類・鳥類・卵類	その他	
	H29	418	120	—	3	32	
	H30	449	114	—	2	34	
	R1	409	93	—	2	30	
年間税込 売上高 (百万円) ※過去3年度 分を記載	年度	野菜	果実	水産物	肉類・鳥類・卵類	その他	
	H29	255	35	—	1	16	
	H30	197	36	—	1	17	
	R1	186	32	—	1	14	
経 常 収 支 比 率 (又は収益的収支比率) ※過去3年度分を記載		H29	100.69%	H30	101.45%	R1	75.66%
経 費 回 収 率 * ※過去3年度分を記載		H29	74.24%	H30	71.00%	R1	50.61%
広 域 化 実 施 状 況		実施していない。					
民 間 活 用 の 状 況		ア 民間委託		実施していない。			
		イ 指定管理者制度		実施していない。			
		ウ PPP・PFI		実施していない。			

* 法適 $\left(\frac{\text{主営業収益} + \text{その他営業収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100 \right)$ 非適 $\left(\frac{\text{料金収入} + \text{その他営業収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用} + \text{地方債償還金}} \times 100 \right)$

(2) 使用料形態 * 取扱い種別、施設ごとの状況が分かるよう記載すること。

売上高割使用料の概要・考え方	条例、規則に基づき、卸売業者より徴収している。条例で売上金額の1,000分の1に相当する金額。
施設使用料の概要・考え方	条例、規則に基づき、卸売業者より徴収している。条例で施設ごとに1㎡あたりの月額単価の上限を定めており、現在は卸売業者等の経営状況に応じ、減免を実施している。

(3) 市場を取り巻く環境等 * 周辺施設の状況などが分かるよう記載すること。

流通形態の変化(交通網の発達による他市場への取引や、大型量販店、産直、インターネット等による市場外流通の増加など)により、本市場の売上高は減少傾向にあり、大変厳しい環境が続いている。

2. 経営の基本方針

流通形態の変化、人口減少等による需要量の減少が想定されるが、地元農家の出荷先として、また住民への安心・安全な食材の安定供給のため本市場の役割は大きいと考える。また、今後は災害時の物資調達拠点としての役割も期待されることから、公設市場としてのニーズを的確にとらえ、売上の向上を目指す。

3. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画) : 別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

昭和54年に建設し、建物や設備の老朽化が進んでいるため、必要に応じて公設地方卸売市場施設整備基金等を活用し、計画的かつ効率的な建物や設備の維持管理を図る。

② 収支計画のうち財源についての説明

卸売業者等の経営状況を把握し、使用料等を再考する。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

維持管理については、必要最低限のもののみを実施し、無駄のないようにする。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

① 今後の投資についての考え方・検討状況

広域化に関する事項	広域化は現在検討していない。
投資の平準化に関する事項	建物、設備の改修は計画的に行う。
施設等の統合・縮小・廃止に関する事項	現在の売場面積に比べ、取扱量も減少してきていることから、施設等の縮小も検討していく必要がある。
防災・安全対策に関する事項	消防設備点検など実施し、必要な対策を講じる。
民間の活力の活用に関する事項 (PPP・PFI など)	当面は、市による運営を行っていくが、民間の活力が活用できるような事案があれば積極的に検討していく。

② 今後の財源についての考え方・検討状況

売上高割使用料単価に関する事項	卸売業者の経営状況を把握し、使用料を再考する。
施設使用料単価に関する事項	卸売業者の経営状況を把握し、使用料を再考する。
取扱高に関する事項	流通形態の変化や人口減少等の影響で、今後さらに減少していくことが懸念されるが、ニーズを的確にとらえ売上高向上を目指す。
繰入金に関する事項	必要に応じて、公設地方卸売市場施設整備基金を活用する。
資産の有効活用に関する事項	建物や設備の修繕を行いながら資産の有効活用に努める。

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

民間の活力の活用に関する事項 (指定管理者制度、PPP・PFI など)	当面は、市による運営を行っていくが、民間の活力が活用できるような事案があれば積極的に検討していく。
職員給与費に関する事項	兼務のため、垂水市地方卸売市場特別会計からの職員給与費の支払いは無い。
委託費に関する事項	施設の維持管理に係る委託費については、必要最低限となるようにする。

4. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経営戦略の事後検証、更新等に関する事項	5年を目途に適切な事後検証を行うほか、投資・財政計画と実績に大幅な乖離が生じた場合には随時見直しを行う。
---------------------	--

投資・財政計画
(収支計画)

(単位:千円, %)

Main financial statement table with columns for years (前々年度, 前年度, 本年度, R3-R12) and rows for income (収益的収入), expenses (収益的支出), and capital (資本的収入/支出).

○他会計繰入金 (単位:千円)

Summary table for other accounting entries (他会計繰入金) with columns for years and rows for income and expense components.